

2026 年 2 月 10 日
神奈川県信用農業協同組合連合会
神奈川県森林組合連合会
全国森林組合連合会
農林中央金庫

「神奈川県域森林由来 J-クレジット利活用にかかる連携協定」締結について ～全国初！農×森の県域協同組合組織どうしでの森林由来クレジット連携～

神奈川県信用農業協同組合連合会（以下、「神奈川県信連」）、神奈川県森林組合連合会（以下、「神奈川県森連」）、全国森林組合連合会（以下、「全森連」）、および農林中央金庫（以下、「農林中金」）は、2026 年 2 月 9 日に、神奈川県森連が箱根町、湯河原町の森林整備（148.78ha）で創出し販売する J-クレジット^{※1}の一部について、神奈川県信連を購入予定者とした、「神奈川県域森林由来 J-クレジット利活用にかかる連携協定」を締結しましたのでお知らせします。

本協定は、農業者と森林所有者を組織基盤とする県域の協同組合組織^{※2}どうしが、県内の農業および林業を持続的に発展させるため、森林由来クレジットの取引を通じて協力関係を構築する、全国でも初の取組みとなります。

1. 背景

森林・林業は将来にわたり「良質な水」を育む農業の生命線です。

現在神奈川県は、水源環境保全・再生を目指す施策^{※3}を通じて、官民一体となった水源林の保全等を進めています。適切な森林管理が滞れば、森林が有する多面的機能が損なわれ水質悪化や土砂流出等を招き、農業用水の安定供給、ひいては農業の持続性に影響を及ぼす懸念があります。

2. 取組内容・意義

神奈川県森連では、神奈川県の水源環境保全・再生施策の水源林事業で集約した箱根町・湯河原町の森林（148.78ha）を対象に、森林由来クレジット（以下、「本クレジット」）を創出・販売していく予定です^{※4}。なお、県域組織である森林組合連合会が、自ら策定した森林経営計画により、プロジェクト実施者として、森林由来クレジットを創出する取組みは全国初となります。神奈川県信連が購入予定である本クレジットの購入代金は、神奈川県森連が管理する箱根町・湯河原町の森林整備等水源環境保全事業等に活用され、県内水源林の公益的機能の発揮、脱炭素社会の実現等に貢献します。

神奈川県信連は、本クレジットの購入を通じて、これら森林整備費用の一部を対応するとともに、自組織の事業活動で排出される CO2 のオフセット等に活用します。

本協定には協同組合の全国組織である全森連および農林中金も調印し、今後の神奈川県内での更なる森林由来クレジット創出、全国にむけた県内 J-クレジットの販売、J-クレジットを利活用した金融商品の開発検討等について、後押ししてまいります。

3. 今後の展望

今回協定を締結した4者は、今後、森林由来クレジットの活用を通じて、神奈川県における水源林の多面的機能の発揮、および脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

- ◆ 水源林の保全により、良質な水を確保し、農業の持続性を高め、地域の食と豊かな環境を次世代へ守りつな갑니다。
- ◆ 森林由来クレジットの普及拡大を通じて、森林・林業へ安定的に民間資金が流入し、持続可能な森林管理の一助となること、ひいてはカーボンニュートラル社会への貢献をめざします。
- ◆ 森林由来クレジットを活用した新たな金融商品開発等により、林業・森林所有者と地元企業・農業者とをつなぎ、地産地消の資金循環型モデル構築を検証・検討してまいります。



※1 J-クレジットとは、適切な森林管理によるCO2等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。本リリースでは、適切な森林管理によるクレジットを「森林由来クレジット」と称する。

※2 神奈川県の協同組合組織の概要図は以下のとおり。



※3 神奈川県は、平成19年度から4期に渡り、「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」を策定。取組みにかかる財源の一部として、個人県民税の超過課税（水源環境保全税）を活用している。

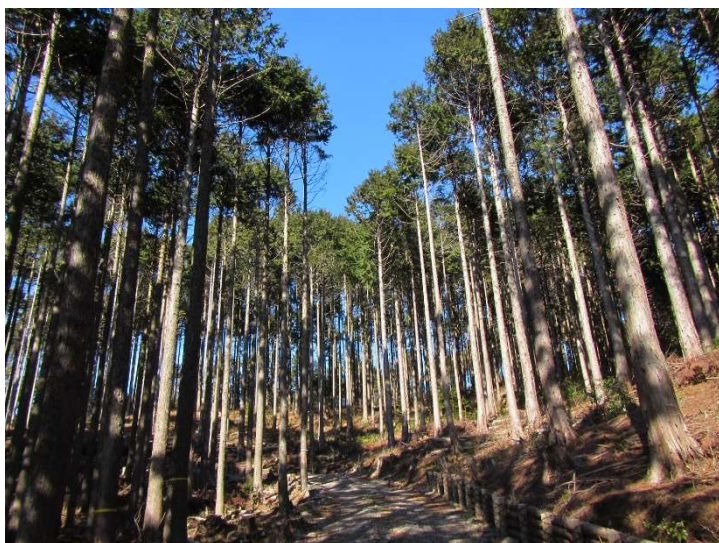
※4 本協定で売買する予定のクレジットは、当該プロジェクトで創出するクレジットの一部であるため、神奈川県森連は今後さらに販売先を探していく予定。

■ 2026年2月9日 締結式



(左から、全森連 代表理事専務 富山氏、神奈川県森連 代表理事会長 平田氏、神奈川県信連 代表理事理事長 鈴木氏、農林中金 理事専務執行役員 尾崎氏)

■ 本件森林由来クレジット創出対象地の風景



プロジェクト実施地から芦ノ湖を望む

【本件に関するお問い合わせ先】

神奈川県信用農業協同組合連合会 経営企画部
(樋口) Tel : 045-680-3026

神奈川県森林組合連合会 総務指導課
(城内) Tel : 0463-88-6767

全国森林組合連合会 組織部
(宮城) Tel : 03-6700-4735

農林中央金庫 経営企画部 広報コミュニケーション班
(蔵方・丹羽) Tel : 03-6362-7172

■ 森林由来クレジットの概要

創 出 者	神奈川県森林組合連合会
プロジェクトの名称	かながわの森を育む脱炭素プロジェクト ～ 箱根・湯河原 編 ～
対 象 森 林	神奈川県足柄下郡箱根町および湯河原町の森林（148.78ha）
方 法 論	FO-001（森林経営活動）
認 証 対 象 期 間	16 年間
CO2 総吸収量 （ 目 標 量 ）	5,394～8,959t-CO2

■ 各主体の概要

会 社 名・代 表 者	神奈川県信用農業協同組合連合会 代表理事理事長 鈴木 俊春
所 在 地	神奈川県横浜市中区海岸通 1 丁目 2 番地 2 号
主 な 事 業 内 容	神奈川県内 JA の金融事業支援、神奈川県を基盤とした信用事業の展開

会 社 名・代 表 者	神奈川県森林組合連合会 代表理事会長 平田 光一
所 在 地	神奈川県秦野市菖蒲 317 番地
主 な 事 業 内 容	森林調査・整備、木材販売・購買、森林組合指導・監査

会 社 名・代 表 者	全国森林組合連合会 代表理事会長 中崎 和久
所 在 地	東京都千代田区鍛冶町一丁目 9 番地 16 号丸石第 2 ビル 6 階
主 な 事 業 内 容	指導・監査、購買・販売

会 社 名・代 表 者	農林中央金庫 代表理事理事長 北林 太郎
所 在 地	東京都千代田区大手町 1 丁目 2 番地 1 号
主 な 事 業 内 容	J A、J F、JForest を会員とする全国金融機関

■ （参考）締結式実施概要

日 時	2026 年 2 月 9 日（月） 11：20～
場 所	JA グループ神奈川ビル 2 階講堂 （神奈川県横浜市中区海岸通 1 丁目 2 番地 2 号）
登 壇 者 （ 敬 称 略 ）	（１） 神奈川県信用農業協同組合連合会 代表理事理事長 鈴木 俊春（すずき としはる） （２） 神奈川県森林組合連合会 代表理事会長 平田 光一（ひらた こういち） （３） 全国森林組合連合会 代表理事専務 富山 洋（とみやま ひろし） （４） 農林中央金庫 理事専務執行役員 尾崎 太郎（おざき たろう）